

釣れ釣れなるままに

1992年思い出の釣行記 PART. 6

下見をするも...



鹿島釣狂

下見のための個人釣行

☆釣行日	平成4年11月2・3日
☆入釣場所	春立4区
☆潮	満潮 18:45 115cm
	干潮 02:39 46cm
	満潮 10:54 105cm
☆天候	波穏やか 風なし 寒さ厳しい
☆釣果	カジカ 423 mm 7
	ハゴトコ 280 mm 2



全道教育研究大会が10月30日～1月1日まで北見市を会場に開催された。私は理科の正会員となり研究発表をした。終了後、網走方面で釣りをしたいものだったが4日間も自宅を開けることになるので断念する。

次の日、雪が降ったが午後から例会の下見を兼ねて出発する。向かった先は春立4区だ。

17:00 辺りは暗い。初めに駐在所の裏に釣り座を構える。ゴロ仕掛け、ゴロネット仕掛け、3本誘導仕掛けを投げ分ける。まもなく近投の竿にアタリがありハゴトコ25cmが釣れた。続けて28cm。

潮が引き始めた19:30、竿尻が持ち上がった。しかし、ただ重いだけで魚の引き込みを感じない。ジワーッと寄ってきて、磯際でバシャバシャとやる。測ってみると過去に体験したことのない40cmのカジカである。

20:30頃、カジカ36cmを追加する。

22:00 竿を片付け仮眠をとる。釣り座の背後にはジュースボックスがおいてあり温かい甘酒を飲む。冷え切った体にはホッとする一時である。

1:00 今度は右の方の岩場に出てみた。春立に着いたときは満潮時で岩がポツポツと出ている程度だったが平盤の先端まで出て行けるようになっていた。大きな岩が二つ並んだ所で2本の竿を出す。



2:00 25cm程のカジカが来る。まもなく右のプールに打ち込んでいた竿が大きく揺れ竿尻が持ち上がった。ジワーッと寄ってくるが重い。波打ち際で暴れたが、思いに反してすんなりと上がった。メジャーを当てると42.3cmを指していた。

4:00 右、左、右とアタリがあり、40cm近いものがある。



※エサはサンマがよかった。嫁のカンカイ対策としてイソメを用意するべし。

釣遊会第7回大会

☆開催日	平成4年11月15日
☆開催場所	厚賀～三石川
☆入釣場所	春立4区
☆潮	干潮 00:00 3cm
	満潮 07:24 113cm
	干潮 11:29 95cm
☆天候	波穏やか 風なし 寒さ厳しい
☆釣果	カジカ 350mm
	アブラコ 280mm 2
	重量 1060g
☆成績	点数 736点
	順位 13位
	累計点 43点 (⑦⑭⑥24③50⑬)
	年間 9位

今回は釣遊会最後の大会である。前回までの4回計での得点は30点で6位である。今回の結果次第で年間総合入賞できるので意を新たに参加した。3日の下見では大物が釣れたので春立4区に下りる。

23:30到着。前回よりも岩盤が出ているので右方向に入る。1:00頃アブラコの28cmが来る。その後さっぱりアタリがないので前回の所に入る。しかし、アタリがない。

4:00ごろまで粘るがさっぱりで交番裏に行く。釣り人がびっしりと入っており、それに押し出されるように左端に来た。テトラの切れ目に入っていた御仁に釣果を聞くと50cmを頭にカジカ5本をあげている。その隣に入れさせてもらう。しかし、駄目である。

6:00頃35cmほどのカジカが上がる。根掛かりがあるも煽ってやると抜けてきた。ステンレス線に鉛をつけた仕掛けである。その後も駄目だった。

9:30最後の竿でアブラコを1匹追加した。帰ってきて腹を割いてみるとカジカの胃は空っぽで、アブラコの胃の中にはハタハタの卵が入っていた。沖にハタハタが入りカジカがその卵を食べに沖に出ているので釣れなかったのだと思う。カジカもアブラコも遠投に来たものである。初めから遠投をかければよかつ



たのだ。

年間成績

①	4 / 19	藻岩岬	774	7位
②	5 / 17	弁慶茶屋	817	14位
③	6 / 14	エンドモ岬	1010	6位
④	7 / 19	山中	317	24位
⑤	9 / 20	苫前漁港	921	3位
⑥		欠席		
⑦	11 / 15	春立	736	9位

累計点 5回 43点 $\div 5 = 8.6$ 9位

6回 67点 $\div 6 = 11$

6回平均 4575 $\div 6 = 763$

5回平均 4258 $\div 5 = 852$